

京都第一赤十字病院でアルコール関連疾患の治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ
アルコール関連疾患の臨床実態についてのご協力をお願い

今回、京都第一赤十字病院消化器内科で、アルコール関連疾患の治療を受けた患者様の臨床背景・経過について検討する臨床研究をします。そのため、アルコール関連疾患で入院歴のある方の診療録を調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

アルコール消費量は近年全体として減少傾向にあるものの、アルコール関連消化器疾患(アルコール性肝障害、肝硬変、膵炎、悪性疾患)は増加傾向にあります。アルコール関連疾患は若年、壮年で発症することも多く、治療で難渋することも多いです。当院消化器内科でも救急をはじめ、外来でもアルコール関連疾患の増加傾向を認めますが、臨床経過についてはまだまだ不明なところがあります。そこで今回我々は症例を集積して、アルコール関連疾患の検討する研究をすることとしました。

研究の方法

・対象について

2009年1月1日から、2020年12月31日まで京都第一赤十字病院消化器内科でアルコール関連疾患で入院加療をうけた患者様

・方法について

過去の診療録、あるいは実臨床の診療情報を収集して、臨床背景・経過を統計学的に分析します。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。個人情報外部に漏れることはありません。研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、下記連絡先までご連絡ください。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。また、ご連絡いただけますと、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。

連絡先

京都第一赤十字病院 消化器内科

氏名 木村 浩之、藤井秀樹、西村健、石破博

電話：075-561-1121(代表)